

テクノスクール訓練科の改編について

1 目的

県内企業からテクノスクールへの人材供給ニーズが高まる一方、高校生の進学率上昇や人手不足の雇用情勢もあり、テクノスクールの入校率は近年、低い状況が続いている。

こうした中、来年度は「第12次新潟県職業能力開発計画」の策定が予定されており、これに合わせ新潟県職業能力開発審議会委員のご意見もいただきながら、より企業と求職者の双方のニーズを踏まえた訓練科に見直すものとする。

2 訓練科の現状

(1) 学卒者向け施設内訓練 (R6 定員：175 人)

学卒者を対象として、ものづくり分野を中心とした1～2年の訓練

【訓練科別実施状況】

(単位：人)

校	訓練科	期間	定員	入校者数			3年平均	
				R4	R5	R6	入校者数	入校率
新潟	精密機械加工科	2年	20	12	6	5	7.7	38.3%
	電気システム科	2年	15	7	13	7	9.0	60.0%
上越	自動車整備科	2年	25	24	17	15	18.7	74.7%
	メカトロニクス科	2年	20	15	12	3	10.0	50.0%
三条	メカトロニクス科	2年	20	13	8	7	9.3	46.7%
	工業デザイン科	2年	20	17	5	7	9.7	48.3%
	生産システム科	2年	20	12	7	4	7.7	38.3%
魚沼	電気施設科	1年	15	16	5	7	9.3	62.2%
	建築施工科	2年	20	15	8	5	9.3	46.7%
合 計			175	131	81	60	90.7	51.8%

(2) 離職者向け訓練

① 施設内訓練 (R6 定員：235 人)

民間教育機関に委託困難なものづくり分野を中心とした2か月から2年間の訓練

【訓練科別実施状況】

(単位：人)

校	訓練科	期間	定員	入校者数			3年平均	
				R3	R4	R5	入校者数	入校率
新潟	自動車整備(DS)	2年	20	13	15	8	12.0	60.0%
	溶接M	6月	40	21	16	14	17.0	42.5%
	ビル設備管理	6月	30	25	23	31	26.3	87.8%
	個人開業基本コース	2月	10	7	4	8	6.3	63.3%
	メカニカルベーシックコース	3月	15	11	6	4	7.0	46.7%
	総合実務科	1年	20	13	5	6	8.0	40.0%
上越	溶接M (R5定員30→20人)	6月	20	13	11	15	13.0	65.0%
	木造建築	1年	15	5	13	13	10.3	68.9%
	ビジネススタッフ科	1年	15	16	14	13	14.3	95.6%
	電気設備工事コース(DS)	6月	30	8	9	12	9.7	32.2%
三条	溶接M	6月	40	18	23	33	24.7	61.7%
合 計			255	150	139	157	148.7	58.3%

② 委託訓練 (R6 定員 : 2,510 人)

企業ニーズや社会情勢に応じて多様な分野の設定が可能な 2～6 か月の訓練

【R5 実施状況と主なコース】

(単位 : 人)

離職者訓練	募集定員	入校者数	入校率	主なコース
事務系	1,380	866	62.8%	事務基本科、事務エキスパート科、医療事務科、オフィスソフト会計科
介護系	307	124	40.4%	介護員養成科、介護福祉士養成科(2年制)
デジタル系	415	261	62.9%	プログラミング科(Python)、AI データ活用科、広告デザイナー養成科、情報システム科(2年制)
建築・建設系	3	—	—	測量科(2年制・希望者なし)
サービス系 保育・調理師等	42	27	64.3%	保育士養成科(2年制)、調理師科(1年制)、製菓技術科(2年制)、美容師科(2年制)
合計	2,147	1,278	59.5%	

3 見直しの視点

- ① 企業ニーズや社会情勢の変化(人手不足・デジタル化)を踏まえた見直し
→ ものづくり分野を中心とした人手不足分野やデジタル分野を拡充
- ② 官民の役割分担を踏まえた見直し
→ セーフティネットの役割も踏まえつつ、民間委託可能な訓練は原則委託
- ③ 入校率の改善に向けた見直し
→ 受講生が受講しやすい訓練科、受託生(※)の受入れ拡大
※ 企業に就職後、給料を得ながら職業訓練を受講

4 スケジュール

日 程	内 容
令和7年5月	改編素案について意見照会・ヒアリング
11月	改編案について意見照会
令和8年3月	改編案について承認